

新たな仲間たちと一歩前へ

市内小中学校入学式 4月7日



真新しい学生服の新中学1年生(下妻中学校)



歓迎の言葉を述べる戸ノ岡さん(下妻中学校)

市内小中学校で入学式が行われ、9小学校で352人、3中学校で365人の新1年生が校門をくぐりました。

入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新入生とその保護者のみの参加となりました。式典内容も縮小されましたが、新入生の皆さんは、新たな出発・出会いへの期待に胸を膨らませながら参加していました。

上妻小学校では、新1年生48人が保護者とともに入学式に臨み、先生たちの歓迎を受けました。新入児呼名では、担任教諭から名前を呼ばれ、元気な返事をしていました。

また、下妻中学校では、159人の新入生を前に、在校生代表の戸ノ岡宙斗さん(3年)が「私たち3年生と2年生、そしてみなさんで下妻中学校をさらに『しんか(進化・新化・深化)』させていきましょう」と歓迎の言葉を述べていました。

新1年生たちは、新たな生活の一歩を踏み出しました。



名前を呼ばれ、元気に返事をする新入生(上妻小学校)

有料広告欄

有料広告欄



動画作成は、先生たちの工夫と苦心の積み重ね



ALTによる熱のこもった講義

鎌倉武士であった肘谷氏の守り本尊と伝わる木造観世音菩薩立像(茨城県指定文化財)が、寛文10年(1670年)4月14日に肘谷沼で発見されました。このことから、毎年この日に、肘谷地区四所神社境内の念仏堂で、観音様のご開帳が行われています。

今年もご開帳にあわせ、地元の女性たちが念仏堂に集まり、観音様をたたえた和讃を披露し、安産や地域の安全や無病息災を願いました。

この観音様が発見された4月14日は、農繁期に当たり、豆を炒って観音様の供物としたことから「豆炒り観音」の名前で親しまれ、特に、安産にご利益がある観音様として周辺に知られる存在でした。

管理者代表(法眼)の木村進さんは「妊婦さんには腹帯やお守り、ろうそくなどをお渡ししている。ろうそくは、陣痛中に火を灯すもので、それが消えるころには元気な赤ちゃんが産まれているといわれている」と話しました。



和讃を唱える肘谷地区の女性



市教育委員会では、休校期間中、学校で授業が受けられない児童・生徒のため、インターネットを利用して学びの場を提供しようと、各小中学校の先生たちが作成した授業動画を掲載するウェブサイト「シモスタ」(「Shimotsuma Kids おうち de Study Project」の略)を立ち上げました。

サイトには算数・数学や、外国人英語指導助手(ALT)による英語の授業動画が順次掲載され、動画を見て練習問題に答え、正解を確認することができるようになっています。

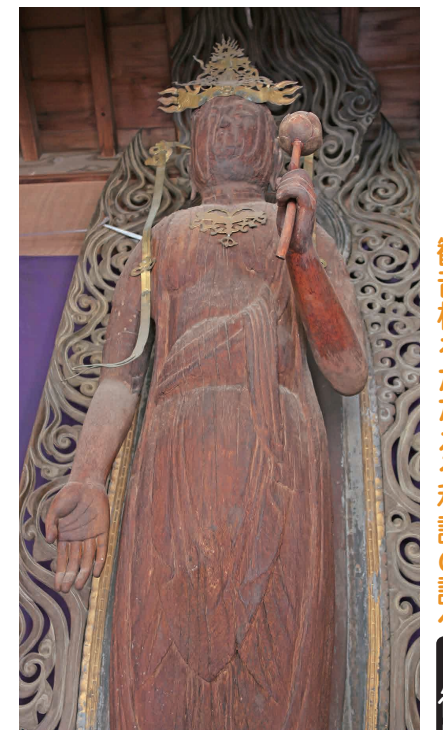
実際に動画で学習した児童は「知っている先生の声を聞くことができて楽しい」と話していました。

また、大宝小学校の鈴木先生は、「学校は閉じていても、先生たちの心は開いていると感じてほしい」と話していました。

先生たちの気持ち、みんなに届け
「シモスタ」小中学生向け授業動画配信

肘谷豆炒り観音御開帳

観音様をたたえる和讃の調べ 4月14日



木造観世音菩薩立像

有料広告欄